

JSBBA KANTO

公益社団法人日本農芸化学会関東支部 2024年度企業イベント

日本農芸化学会関東支部 2024年度企業イベント ～企業で活躍する先輩からのメッセージ～
が、2024年11月30日(土)にZOOMIによるウェビナー形式で開催されました。

本イベントは、将来のキャリアとして企業への就職を考える院生・学部生に対して、企業の第一線で活躍中の先輩方の生の声をお伝えし、会社生活や将来像などを具体的にイメージしてもらうことを目的として、開催しているものです。

コロナ禍を機に始まったウェビナー形式による本イベントですが、昨年に引き続き、本年もウェビナー形式での開催と致しました。

オンラインでの開催の効果もあり、北海道から九州まで34の学校から136名のエントリーがあり、当日も80名を超える参加者数となりました。質疑応答では、事前に聞きたい質問について募集し、さらに当日も講演内容に対して、個別質問もあり、学生の興味の高さが伺えました。

当日の講師と演題(敬称略) 食品企業6社

1. 大野 和也(森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所 腸内フローラ研究室)
森永乳業の研究開発 ～ビフィズス菌の健康価値の探求～
2. 小林純也(太陽化学株式会社 ニュートリション事業部 研究開発グループ)
太陽化学の研究開発 食品を陰から支える独自技術
3. 浅尾 真結子(ハウス食品グループ本社(株) 研究開発本部アグリ素材開発部)
赤坂 優太(ハウス食品(株) 開発研究所開発一部2G)
ハウス食品グループの研究開発 –「食で健康」をR&Dでリーディングー
4. 仲沢 萌美(キューピー株式会社 研究開発本部 技術ソリューション研究所)
”未来の食生活を創造する” キューピーグループの研究開発
5. 吉井 孝彰(サントリーホールディングス株式会社 ものづくり人財戦略本部)
サントリーの生産研究 「人間の生命の輝きをめざして」
6. 森 日香里(キッコーマン株式会社 研究開発本部)
キッコーマンの研究開発～伝統×革新が創る未来の味～

JSBBA KANTO

講演では、企業紹介だけでなく、演者が経験された業務や研究についての紹介、企業の研究者を目指した理由、社会人としてのキャリアパス、学生への期待やアドバイス等々、興味深い話が満載で、学生にとって有意義で実りある講演内容でした。

事前に頂いた質問のうち、全社に共通と思われる質問については、講演内で触れて頂きました。また、当日も各社個別の質疑はZOOMのQ&A機能を活用して行いました。時間内で回答できなかったものも有りましたが、その全てに対し、質問時間が終わっても丁寧に講演者から回答して頂き、各社の想いや魅力を分かりやすく発信して頂きました。日本全国、多くの大学に参加して頂け、オンラインの特長を活かした開催でした。

学生の皆さんからは、「BtoB事業についての研究領域が知れてよかった」、「講演者の方々がその道を選んだ経緯について聞くことができ、大変参考になった」、「6社それぞれの研究開発の話と比較しながら聞くことが出来てよかった」、「業務内容だけでなく社風、社員の人柄について知ることができた」、といった感想をアンケートで頂きました。

今回のイベントが皆さんの今後の学業、研究、進路探しのモチベーションにつながることを主催者一同、願っております。

(報告者 伊藤孝太郎)

各社講演の様子

